

# 令和4年度 事業報告書



光風会のシンボルカラーに刷新された外壁



社会福祉法人 光風会

## I. 法人の所在地及び事業

長崎県壱岐市郷ノ浦町志原西触 1066-1

介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム光の苑 定員 60名

短期入所生活介護 特別養護老人ホーム光の苑 定員 12名

## II. 運営方針

光風会は、認知症ケアを基軸に、過疎化や超高齢社会を生きる壱岐の住民の方々にとって必要な支援を提供する。心身に障がいが生じて、家族や社会とのつながりを保ち、人として尊重される地域づくりに貢献することを使命としている。

### 《光の苑の基本理念》

- ・地域の人々とともに安寧に暮らす
- ・認知症の方と共に生きる
- ・最期の時まで寄り添う

### 《光の苑のケアの4本柱》

- ・認知症ケア
- ・ターミナルケア
- ・チームケア
- ・コミュニケーション

- ・高齢者と関係する方々、地域全体に必要とされる施設であり続けること
- ・壱岐の社会を支える働く世代から厚い信望を得られるような運営

## III. 令和4年度 事業目標

( 事業目標 ) あらゆる変化に対応しながら、継続的にサービスを提供する。

- 1 【 管理運営体制の整備 】 安定的な収入の確保・BCPに基づく体制整備
- 2 【 ケアの質の向上 】 アセスメント力、ケアプラン立案力・ケア実践力
- 3 【 ニューリーダーの育成 】 業務改善の取組み・組織再編成・人材確保と育成
- 4 【 施設設備の整備 】 災害対応の設備の充実・新時代対応の設備整備

## IV 利用者の動向および処遇

### ①入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	1	4	2	2	3	2	2	2	1	0	4	1	24
退所	3	3	1	4	3	2	1	1	1	1	3	1	24

※入所判定会議 月1回を目安に今年度は10回実施。入所待機者数46名

(参考) 退所後の新規入所者の受け入れに要した日数

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
平均日数	15.6	12.6	11.4	12.8	13.7

### 【資料1】～【資料5】

### ② 入所者の状態像

1) 在所期間別の入所者数～ **入所者の6割が入所2年以内** ※平均在所年数3年6ヶ月(-9ヶ月)

	1年未満	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年以上	計
男	3	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	8
女	18	7	6	2	2	2	1	2	8	1	3	52
計	21	8	8	3	3	2	1	2	8	1	3	60

2) 年齢構成

※年間平均年齢 89.5歳(-0.5)

	60歳代	70歳代	80歳代		90歳代以上		計
			80～84	85～89	90～94	95～	
男	0	1	2	1	3	1	8
女	2	2	6	15	15	12	52
計	2	3	8	16	18	13	60

3) 要介護度別入所状況 **【資料6】**

※平均要介護度 3.5(-0.1)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	0	5	1	2	8
女	0	6	26	12	8	52
計	0	6	31	13	10	60

4) 入院日数 ～ 入院の繰返しと長期化

稼働率 98.6% (94.5%)

年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
日数(年)	339	206	337	693	888

5) 救急搬送件数 【資料 7】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
1	1	2	1	1	0	1	1	6	4	3	5	26

6) 往診、他科受診

- ・ 嘱託医の往診 2 回/週
- ・ その他の往診 協力医の往診、眼科、歯科、皮膚科等
- ・ 定期外来受診延べ人数

糖尿外来	1 名	泌尿器科	1 名	整形外科	12 名
肝臓外来	1 名	眼科	2 名	内科	4 名
精神科	5 名	神経内科	1 名	外科	1 名

③ 短期入所の動向および状態像 【資料 8】

平均年齢 88.4 歳 平均要介護度 3.0

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	延日数
日数	305	324	323	335	309	272	318	324	320	327	289	323	3769
稼働率	84.7	87.1	89.7	90.1	83.1	75.6	85.5	90.0	86.0	87.9	86.0	86.8	86.1

利用者の動向に関するまとめ

1. クラスタ脅威の中サービスを維持し、稼働率は年度当初目標を越える実績を確保した。
2. くりかえす重篤な肺炎での入退院に加え、転倒による骨折入院者の対応に追われた。
3. 入所後の要介護状態の軽減、多くの利用者の入替りでの単価は当初目標を若干下回った。
4. 入所申込者や入所利用者・SS 利用者とも、比較的軽度となっている傾向にある。

## V. COVID-19 施設内クラスター発生についての報告

### ① 第7波（R4夏）第8波（R4～5の年未年始）

時期	R4.8月上旬	8月中旬	8月下旬
利用者		1名発症 感染疑い例数十名	発症後11日目朝に解除
職員	家族内感染3名 濃厚接触待機2名	2名発症 家族内濃厚接触者3名	
SS利用	月稼働率83.1%	感染疑い1名	下旬より入所時検査実施

時期	9月上旬	9月中旬～下旬	
利用者	認知症状異常後 3日目発症	3～4日後3名発症	発症11日経過後も居室対応継続 最終感染者発症14日経過まで隔離継続
職員	翌日職員1名 全員検査2名	ケア対応者2名発症 家族内感染3名	
SS利用	月稼働率75.6%	入退所中止・サービス調整	21日より通常利用再開

1月初旬 SS利用者1名発症（6日間入退所中止） 月稼働率89.9%を維持

### ② 治療と医療的指示受け

・嘱託医より指示受け → 協力病院との連絡・処方 → 施設内療養の実施

### ③ 施設内療養の対応

・感染対策とゾーニング 歩ける認知症の方を考慮した対応  
・通常業務の簡素化 タイムテーブルの作成 時間差対応

### ④ 職員へのケア

- ・労務管理 健康管理と業務負担の軽減
- ・他部署、非感染部署からの応援体制
- ・各部署主任の負担軽減

（参考） R4年度の部署発表のテーマ一覧～コロナから得たチームの結束力とケアへの自信

経理・総務	6月11月	①決算報告 ②エアコン・加湿器の活用と換気方法 ③水道光熱費の節約術の共有
看護	12月	“今 伝えたいこと”
キッチン	1月	コロナ対応を経験して～キッチンの学びと想い～
相談	10月	ターミナル期の基準の見直し
介護	2月	介護用ソフトのデータと記録の活用

## VI. 管理運営体制の整備（BCPに基づく体制整備・安定的な収入の確保）

### ① 令和4年度 BCP 関連を含む施設研修一覧

実施	内容	実施要領	参加職種	人数
4月	採用時研修	施設内	介護	2名
	基礎研修	施設内	介護	3名
	感染対策訓練①「吐物処理訓練」	施設内	全職種	51名
5月	感染対策委員会研修会① 「食中毒について」	施設内	全職種	50名
	ターミナルケア研修①	施設内	全職種	50名
6月	身体的拘束適正化委員会研修① 「スピーチロックについて」	施設内	全職種	52名
7月	火災予防訓練①「夜間想定避難訓練」	施設内	全職種	43名
9月	安全運転管理者研修	オンライン	安全運転管理者	1名
	日本認知症ケア学会	オンライン	介護 OT	3名
	防災訓練①「停電時の防災対応訓練」	施設内	全職種	名
	採用時研修	施設内	看護	1名
	安全対策担当者養成研修会	オンライン	安全対策担当者	1名
	ユニットリーダー研修	オンライン	介護	1名
10月	感染対策訓練②「適切な手洗いの実践」	施設内	全職種	48名
	ユニットリーダー研修	オンライン	介護	1名
	ターミナルケア研修②	施設内	全職種	48名
11月	身体的拘束適正化委員会研修② 「虐待防止の取組み グレーゾーンを考える」	施設内	全職種	42名
	成年後見制度研修	オンライン	生活相談員	1名
	意思決定支援研修	オンライン	生活相談員	1名
12月	事故予防対策委員会 「内服マニュアル変更」	施設内	全職種	34名
	虐待防止委員会研修 「虐待の定義、対応義務について」	施設内	全職種	34名
1月	感染対策訓練②「ゾーニングと PPE 着脱訓練」	施設内	全職種	47名
2月	AED・CPR 学習会	施設内	全職種	47名
	身体的拘束適正化委員会研修③ 「スピーチロック防止の取組みのまとめ」	施設内	全職種	47名
	採用時研修	施設内	介護	1名
	火災予防訓練②「緊急通報装置」	施設内	全職種	47名
	壱岐島医療福祉研究発表会	施設外	介護	1名
3月	施設内学会・事例検討	施設内	全職種	43名

②委員会組織と R4 年度の活動実績

事故・感染対策委員会	転倒事故後の対応力の強化。安全管理体制加算。 COVID-19 クラスタ発生対応と拡大予防。
身体的拘束適正化委員会	身体拘束ゼロの継続。ドラッグロック・スピーチロックへのアプローチ。 虐待防止の取組み開始と認知症者への理解を深める研修。
褥瘡対策委員会	褥瘡ゼロを目指す。ADL 維持と栄養確保による褥瘡予防の視点で、看取りケア時であっても褥瘡発生はない。 褥瘡マネジメント加算の算定準備。
排泄ケア委員会	自然排便を促し、坐位による排泄を目指す。排泄しやすい姿勢や動作を引き出すアプローチ。ADL と排泄パターンの把握。 排せつ支援加算の算定準備。
愛食委員会	最期まで口から、食べたいものを食べられる支援を。 口腔衛生管理体制の基本サービスへの組み入れ。
ライフシップケア委員会 (ターミナルケア委員会)	新基準での看取りケア加算算定の開始。 職員教育、職員や家族の精神的フォローについても取り組む。
テクノエイド委員会	寝たきりを作らずほとんどのケースを離床させ、坐位による食事を可能に。全ユニットで移乗のためのリフト対応可能。 介護ロボット、センサーや眠り SCAN への対応準備。

**Ⅶ. 職員の動向 ～ ニューリーダー育成を目指した業務改善と人材確保**

① 入退職（令和4年度分）

	フルタイム	パートタイム	計
入職	3	1	4
退職	4	4	8

退職者もあり人数は変わらないが世代交代が行われている。

② 職員数

	介護	看護	キッチン	業務	相談・事務等	計
人数	37	6	8	10	8	70
平均勤続年数	7.1	10.6	10.0	5.6	12.6	8.7
平均年齢	37.3	53.2	49.3	37.3	46.2	41.5

③ 働き方の実態

- ・月平均時間外労働 1.2 時間(-0.2)
- ・年間平均有休取得日 12.9 日(+4.6)
- ・育児休業取得者 3 名 / 出産者 3 名
- ・育児短時間勤務 1 名

④介護現場の Dx 化、業務改善へのステップ

- ・業務改善への足がかりとしてのチャレンジ ～外部委託とコロナによる影響
- ・ビジネスチャットツールの導入と効果 災害・感染対応

⑤福利厚生

- ・ COVID-19 感染拡大防止のため、各種懇親会を今年度も未実施。
- ・ 定期健康診断の充実 規定項目に加えて、特定健診を実施。
- ・ 病児保育費の助成～積極的活用の促進

**Ⅷ. 施設設備の充実 ～感染対策と新時代に対応できる施設づくり**

① 各種定期点検

消防設備点検	2 回／年	非常灯の交換
エレベーター点検	1 回／月	
電気設備点検	1 回／2 月	
浄化槽点検	1 回／月	部品交換、膜交換
受水槽点検	1 回／年	
移乗用リフト定期点検 15 基	1 回／年	定期的バッテリー交換
建築設備	1 回／年	
建築物定期点検	1 回／3 年	当年は実施せず
医療安全器具類点検	1 回／年	
非常電気点検	1 回／5 年	当年は実施せず

② 機器設備等：

電話設備工事完了・居室内空調設備の交換終了  
各ユニット内食器棚交換・特殊車椅子・体重計交換  
1 人がけの椅子・テーブルの導入

③ 外壁の補修工事完了 R4.3 月～R4.6 月